

# ピーコ

## Peeco Chanson & Talk Song of My Heart vol.23

たった3分の曲の中に  
ひとつの人生がこめられている  
それがシャンソン

ときに辛口に、ときにおちゃめに、  
ピーコがうたい、話すことばは  
聴く人の心を強く打つ

人生を見つめ、歌い続ける  
ピーコにしかうたえない歌がここにある

### シャンソン&トーク 我が心の歌 vol.23



#### ピーコ

1945年横浜市に生まれる。高校卒業後、アパレル会社、文化服装学院を経て、衣装デザイナーとして芸能界へ。現在はファッション評論家やジャーナリスト、タレントとして活躍。1989年、左目のがんの摘出手術。落ち込んでいるときに永六輔氏から歌を勧められシャンソンの勉強を始める。手記を綴った『片目を失って見えてきたもの』は、生きるこの意味を見つめた1冊としてベストセラーに。映画評論家・おすぎとは一卵性双生児の兄弟。



#### 落合 恵子 (作家・クレヨンハウス主宰)

1945年栃木県宇都宮市生まれ。文化放送アナウンサーを経て、文筆業に。執筆と並行し、東京青山、大阪江坂に子どもの本の専門店クレヨンハウス、女性の本の専門店ミズ・クレヨンハウス、子どもの想像力を育む玩具を集めたクーヨンマーケット、オーガニックレストラン等を展開。総合育児雑誌「月刊クーヨン」、オーガニックマガジン「いいね」発行人。主な著書に「自分を抱きしめてあげたい日に」(集英社新書)「質問・老いることはいやですか?」(朝日新聞出版)「おとなの始末」(集英社新書)「てんつく怒髪」(岩波書店)「決定版 母に歌う子守唄…介護そして見送ったあとに」(朝日新聞出版)「泣き方を忘れていた」(河出書房新社 4月刊行予定)

©神ノ川智早



©Kumi Watanabe

#### 森若 三栄子 (ピアノ)

桐朋学園大学ピアノ科卒業。卒業後ポピュラー音楽に転向し、講師として何度か乗船し海外を回る。その後、故・友竹正則氏の伴奏などを経てクラシック、シャンソン、ポピュラー、そして童謡と、幅広いジャンルで演奏を開始。故・石井好子氏をはじめ、多くのシャンソン歌手やボニー・ジャックスの伴奏者として活躍中。また、ニューヨーク、中国など海外でも活躍。1996年『第26回日本童謡特別賞』受賞。



©井村重人

#### 椿 太陽 (ヴァイオリン)

2歳よりヴァイオリンを始める。第17回高文連ソロ・コンテスト最優秀音楽賞(全4部門総合1位)受賞。第10回"万里の長城杯"国際音楽コンクール第1位、中国駐大阪総領事賞受賞。授業料全額免除を受け昭和音楽大学演奏家コース卒業。リサイタルを行う他、様々な音楽コンクールの審査員を務め活動は多岐に渡る。東京音楽学院講師を務め、後進の指導にもあたっている。門下生の多くがコンクールに上位入賞している。日本弦楽指導者協会正会員。

2018年3/24(土) 成城ホール 開場 13:30 開演 14:00  
前売 3,500円 当日 3,800円 (全席指定)

#### ●チケット取扱い

成城ホール・北沢タウンホール (窓口販売)

カンフェティ <http://www.confetti-web.com/>

0120-240-540 (平日 10時~18時)

チケットぴあ <http://t.pia.jp/> 0570-02-9999

Pコード【102-139】

#### ●お問合せ

成城ホール 03-3482-1313

主催：成城ホール (アクティオ株式会社)

協力：オフィスおすぎとピーコ

制作：菊地 廣/難波有希 内田陽子

制作統括：野際恒寿

舞台：株式会社東京舞台照明

イラスト：ピーコ

デザイン：織田一良

12/25(月)  
午前10時より  
一般発売開始

